

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	吉永町史編纂事業		コード	担当課	吉永地域公民館
			03-02-04-14	担当者	金藤康樹
事業実施期間	昭和53年～		電話	84-3839	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	公民館			
	施策	指導者の育成・文化活動の推進			

事業について	
目的	「吉永町史」の製作し吉永町の歴史について知ってもらう。
対象 (誰のために)	「吉永町」の歴史について興味のある個人・団体
内容	「吉永町史」全6巻のうち「通史編Ⅱ」が未刊行であり、製作中である。販売については約700セットの予約販売を行っており、「通史編Ⅱ」が出来次第、予約購入者に対し発送する。また、在庫についても、随時販売する。製作部数は「通史編Ⅱ・Ⅲ」が1,000部、「通史編Ⅰ・Ⅳ」「資料編」「民族編」が2,000部である。

事業の結果													
実施項目		17年度											
		回数など	(単位)		回数など	(単位)		回数など	(単位)				
総販売予約部数		4,150	冊										
事業費 (単位：千円)		事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源		
		直接事業費	1,801	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
		人件費	2,420	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
				市債				市債				市債	
		合計	4,221	一般財源等	4,221	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0
必要人員		0.30											
結果指標①	結果指標名	町史編纂会議回数											
	結果指標量	11											
	単位	回											
	対前年比	—											
結果指標②	事業費	3,040,550	(原稿料除く)	円		円		円		円		円	
	単位当たりコスト①	276,413		円		円		円		円		円	
	結果指標名												
	結果指標量												
	対前年比	—											
	事業費			円		円		円		円		円	
	単位当たりコスト②			円		円		円		円		円	

事業の成果			
成果指標名	総販売予約部数	式又は説明	17年度末までの総販売冊数
成果指標量	17年度 4,150		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	5,700冊	到達目標年度	平成20年

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価		
コメント		評価区分 <A~E> B

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	印刷の早期着手	H18年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業が先延ばしされ、当初の予定が大幅に遅れた。

吉永町の歴史を広く知ってもらうため町史は有効ではあるが、在庫も多く残っていることから、広く宣伝し、販売促進を図る。